

## ■ 掲示板

### ■ 公益信託林女性自然科学者研究助成基金 助成公募 (平成20年度)

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を受託者にお送り下さい。

**対象:** わが国の大学、国立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する若手女性研究者（国籍を問わない）。

**助成内容:** ①研究助成：15件程度、総額約2千万円。②林フェロー：博士号を目指す若手研究者（1百万円）5名程度。2年間助成。③国際研究交流助成（国際研究集会での研究発表、海外での共同研究のための渡航）年10件程度、総額150万円。

**申込締切日:** 2008年3月31日(月)③は受託者に問い合わせのこと。

**申請書:** 中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

[http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k\\_topm.html](http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html)

**申込・問合せ先:**

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

中央三井信託銀行本店法人営業部 公益信託課林基金担当

TEL 03-5232-8911 FAX 03-5232-8919

### ■ 公益信託山村富美記念女性自然科学者研究助成基金 助成公募 (平成20年度)

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を事務局にお送り下さい。

**対象:** わが国の大学、国立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する若手女性研究者（国籍を問わない）。

**助成の種類:** 山村フェロー：博士号を取得している若手女性研究員（2百万円）3名程度。2年間助成。

**申込締切日:** 2008年3月31日(月)

**申請書:** 中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

[http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k\\_topm.html](http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html)

**申込・問合せ先:**

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

中央三井信託銀行本店法人営業部 公益信託課山村基金担当

TEL 03-5232-8911 FAX 03-5232-8919

### ■ 榊豊田中央研究所 正社員募集

**職種:**

① 正社員（研究者）1名

② 客員研究員（最長3年間の契約、1年毎の更新）各1名

**職務内容:**

① 放射光を用いた材料解析および測定技術開発

② 放射光を用いた触媒材料解析

**応募資格:**

① 放射光利用経験に加え、X線光学または計測技術に詳しい方が望ましい

② 放射光および触媒化学の知識を有する修士以上の方

**応募方法:** 応募職種・職務内容を明記の上、履歴書(写真添付)、職務経歴(研究実績)、論文リスト、主要論文別刷(コピー可)等を下記宛に郵送してください。(応募書類は返却いたしません。応募の秘密は厳守いたします。)

**申込締切日:** 2008年3月31日(月)

**着任時期:** 2008年4月1日以降(応相談)

**書類送付先・お問合せ先:**

〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41-1

榊豊田中央研究所 人材開発 G 羽田, 高野, 宮崎

Tel: (0561)63-6509

E-mail: [saiyo@mosk.tytlabs.co.jp](mailto:saiyo@mosk.tytlabs.co.jp)

URL: <http://www.tytlabs.co.jp/>

### ■ 第8回(平成20年度)財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞候補者募集

1. 授賞対象分野

(1) 「材料」

(2) 「半導体及び半導体装置」

(3) 「計測評価」

(4) 「バイオサイエンス・バイオテクノロジー」

2. 授賞対象者: 詳細は下記請求先へお問い合わせ下さるか、ホームページをご覧ください。

(1) 授賞対象は、論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用化につながる優れた創造的業績を上げている人(複数人も可)とします。

(2) 受賞候補者の国籍は問わず、日本国内において業績をあげた人を授賞対象とします。

(3) 過去に応募されたことのある人でも再応募可能です。

3. 顕彰: 各分野それぞれに賞状及び副賞(18金メダル・賞金300万円)を贈呈します。

4. 募集期間: 平成20年2月1日から4月末日(必着)

5. 推薦書請求先, 提出先:

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 1-18-6

財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局

TEL: 03-3415-2200 FAX: 03-3415-5987

E-mail: [prize@mst.or.jp](mailto:prize@mst.or.jp) URL: <http://www.mst.or.jp/prize/>

## ■会告

### ■日本放射光学会第76回評議員会議事録

日時：2007年11月17日(土) 14:00~16:00

場所：理研東京連絡事務所 会議室

出席者：雨宮慶幸（会長）、大橋治彦、大柳宏之、尾嶋正治、  
 籠島 靖、加藤政博、木村真一、小杉信博、佐々木聡、  
 澤 博（会計幹事）、繁政英治（渉外幹事）、下村 理、  
 大門 寛、高田昌樹、竹田美和、田中 均、並河一道  
 （議長）、柳下 明 各評議員  
 櫻井吉晴（編集幹事）、百生 敦（庶務幹事）、山本雅貴  
 （行事幹事）

欠席者：朝倉清高、安藤正海、飯田厚夫、太田俊明、鎌田雅夫、  
 辛 埴、寿栄松宏仁、関 一彦、藤森 淳、間瀬一彦、  
 水木純一郎、若槻壮市

事務局：佐藤亜己奈（WORDS）、西野三和子（WORDS）

〈審議事項〉

#### 1. 2008年度活動方針

本学会の年度改正に伴い、2007年10月より2008年度がスタートしたことを受け、会長、幹事より活動方針について所信表明があった。また、百生庶務幹事より2008年度の学会組織（会長、幹事、評議員、各委員会委員）、および事業計画について提案があり、承認された。

#### 2. 会員の異動状況

百生庶務幹事より、第75回評議員会以降の入退会申請者に関して、入会：正会員74名（うち学生会員52名）、賛助会員2社、賛助会員口数変更1社（2口から1口に変更）を承認した。なお、入会希望者2名については会社代表者であったため保留扱いとし、賛助会員への移行について打診することが提案された。また、退会については評議員会報告事項であることが確認され、退会：正会員29名（うち学生会員5名）、賛助会員1社が報告された。2007年11月17日現在の総会員数は1340名（内 学生会員240名）、賛助会員50社54口。

#### 3. 第12回学会奨励賞選考結果

雨宮会長より学術賞等選考委員会での選考の結果、下記の3名を第12回学会奨励賞の受賞者として推薦する旨の報告があり、審議の結果承認された。

若林裕助（KEK-PF）

「放射光共鳴散乱を応用した軌道・電荷秩序の観測手法の開発研究」

堀場弘司（東大工）

「軟X線・硬X線光電子分光による強相関化合物の電子状態の研究」

加藤健一（理研播磨）

「放射光粉末回折法による光誘起構造物性の研究」

#### 4. 名誉会員推薦

雨宮会長より波岡先生、上坪先生、菊田先生の名誉会員推薦書が提案された。審議の結果、次回総会にて3先生を名誉会員に推薦することとなった。

#### 5. 2007年度決算・2008年度予算

澤会計幹事より、2007年度決算案・2008年度予算案について説明があった。まだ作成途中段階であるため、次回評議員会で貸借対照表と合わせて最終案を報告し承認を得ることとなった。また、出席委員より会費値上げによる効果について質問があり、現状として値上げによってようやく採算が保たれている状態であることが報告された。

#### 6. 協賛等について

繁政渉外幹事より本学会に対する協賛依頼等について報告があり、協賛11件、後援1件、共催1件を承認した。

#### 7. 男女共同参画学協会連絡会への参加

雨宮会長より男女共同参画学協会連絡会への加入を検討している旨の説明があった。審議の結果まずはオブザーバー会員として加入することを決定した。会議への出席等、佐々木評議員に担当をお願いすることとなった。

〈報告事項〉

#### 1. 2007年度事業報告

百生庶務幹事より、2007年度の学会活動について報告があった。

#### 2. 第4回若手ワークショップ報告

山本行事幹事より2007年8月6日-7日に開催された第4回若手ワークショップの参加者数、決算等について報告があった。

#### 3. 第21回年会・合同シンポ（JSR08）準備状況

山本行事幹事より2008年1月12日-14日に立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催される第21回年会・合同シンポの準備状況について報告があった。特別講演、特別企画講演、企画講演1~7のプログラム、タイムテーブル、予算案について説明があった。

#### 4. 柳下評議員提案（VUV・軟X線領域の放射光科学における位置付け議論）への対応について

前回の評議員会において、柳下評議員よりVUV・軟X線領域の放射光科学における位置付けを議論する場を設けてほしいとの提案があった。この提案への対応について8月に臨時幹事会を開催し検討をした結果、雨宮会長より、第21回年会・合同シンポにて、VUV・SXの今後のあり方を議論する企画セッションを、議論のための第一歩として提案してもらうこととなり、企画講演5「超高輝度EUV光源が拓く新しい光科学—FELと高次高調波レーザー」を行うこととなった旨が報告された。

#### 5. 創立20周年記念事業企画委員会報告

雨宮会長より、8月11日に行われた創立20周年記念事業企画委員会について報告があった。参加者数の確実な確保等を考慮して、2009年1月に行われる第22回年会・合同シンポジウムに接続して記念式典を行うこととなった旨が説明された。これに関連して、東京大学放射光連携機構長である尾嶋評議員より、第22回年会・合同シンポの会場等について説明があった。

6. 第81回編集委員会報告

櫻井編集幹事より、会誌編集状況、次期特別企画「検出器シリーズ」構成案について報告があった。また、ビームライン光学技術シリーズ単行本の出版計画について説明があった。出席委員より、価格について会員割引を行ってはどうか、タイトルをもっと馴染みやすいものにしてほしい等の意見があり、これらについて検討することとなった。

7. 学会ホームページについて

繁政渉外幹事より学会ホームページの会員専用ページを更新し、会員専用ページから「放射光」オンライン会誌の閲覧、オンライン名簿システムの利用、学会活動の記録（歴代役員、奨励賞授賞者、沿革）の閲覧を行うことができる旨が報告された。また、評議員会専用ページを準備中であることが報告された。また、問題点を適宜指摘してもらう目的でホームページのモニター役を依頼することとなった。

8. ケイロンスクールおよび第2回アジアオセアニアフォーラム報告

高田評議員より、9月10日-20日にSPring-8で開催された1st AOFSSR Summer School Cheiron School 2007および11月1日-2日に台湾で開催された第2回アジアオセアニアフォーラムについて報告があった。また、第2回ケイロンスクールについては2008年秋にSPring-8で、第3回アジアオセアニアフォーラムについてはオーストラリアで開催予定である旨が報告された。

9. その他

出席評議員より、従来通りの机上配布資料の事前閲覧に対する要望があり、今後対応することとなった。

10. 評議員会日程の確認

第77回評議員会 2008年1月12日(土)12:10-13:10  
場所:立命館大学びわこ・くさつキャンパス  
第78回評議員会 2008年4月5日(土)14:00-16:00  
場所:理研東京連絡事務所 会議室  
第79回評議員会 2008年7月12日(土)14:00-16:00  
場所:理研東京連絡事務所 会議室

■会員異動

第76回評議員会(2007年11月17日)で承認

《正会員入会》

森本 理 広島大学放射光科学研究センター  
山本 孝 京都大学工学研究科材料工学専攻  
水野 伸宏 理化学研究所 播磨研究所 高田構造科学研究室  
井上 敬文 ㈱カネボウ化粧品 基盤技術研究所  
柏木 茂 大阪大学 産業科学研究所  
中川 武志 ㈱東レリサーチセンター  
森吉千佳子 広島大学大学院理学研究科  
河本 正秀 高輝度光科学研究センター  
西谷 智博 理化学研究所  
杉山 陽榮 佐賀大学 シンクロトロン光応用研究センター  
古川 隼人 大阪大学 大学院 工学研究科 精密・応用物理学専攻(精密科学コース) 山内研究室  
高木 康多 分子科学研究所  
山田 秀尚 日本原子力研究開発機構

北島 昌史 東京工業大学  
宮脇 淳 理研 励起秩序研究チーム  
辻 淳一 ㈱東レリサーチセンター  
土岐 陸 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光科学研究施設  
福澤 宏宣 東北大学 多元物質科学研究所  
高西 陽一 京都大学 大学院 物理学・宇宙物理学専攻  
武田さくら 奈良先端科学技術大学院大学  
清水 伸隆 高輝度光科学研究センター 利用研究促進部門  
家路 豊成 立命館大学 SRセンター

以上22名

《学生会員入会》

尾原 幸治 九州大学理学府  
長谷川隆英 東京大学 理学系研究科 物理学専攻  
服部 香里 京都大学 理学研究科物理第二教室 宇宙線研究室  
久保 英人 大阪大学 大学院 工学研究科 精密・応用物理学専攻(精密科学コース) 超精密加工領域  
向山 将太 関西学院大学  
上野 広樹 九州大学 大学院 理学府 凝縮系科学専攻 複雑系科学3講座 武田研究室  
北川 孝信 神戸大学 大学院 工学研究科 機械工学専攻  
後藤 智宏 東北大学 多元物質科学研究所  
山川 大輔 大阪大学 工学部 精密科学専攻 山内研究室  
高田 直樹 広島工業大学  
橋田 智史 北九州市立大学 櫻井研究室  
沼倉 正彦 日本原子力研究開発機構  
豊島 安志 東京大学 大学院 工学系研究科  
北村 未歩 東京大学 大学院 工学系研究科  
合田 昇平 名古屋大学  
森原 理圭 名古屋大学 大学院  
三尾咲紀子 東京理科大学 理学部応用化学科 中井研究室  
後藤謙太郎 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 凝縮系物性学講座  
舟岡 真一 兵庫県立大学  
天野 泰至 兵庫県立大学  
久保田雄基 兵庫県立大学  
下村 健太 兵庫県立大学  
石川 淳 首都大学東京  
藤井 正輝 大阪大学 大学院 工学研究科 精密科学コース 超精密加工領域  
松田 拓也 広島大学 理学研究科 構造物性研究室  
栗原 愛 東北大学 加齢研 病態臓器  
鈴木 文也 福井大学 工  
岸田 彰憲 兵庫県立大学 物質理  
岩山 洋士 京都大学 大学院 理学研究科 物理学宇宙物理学専攻 不規則系研究室  
高石理一郎 東京大学 大学院 工学系研究科 応用化学専攻 尾嶋研究室  
成瀬 健三 北九州市立大学  
西村 智貴 北九州市立大学

谷川 貴紀 兵庫県立大学 理学部 物質理学研究科 物質科学専攻

塩見 健 大阪府立大学 大学院 工学研究科 電子・数物系専攻 数理工学分野

平戸 康晴 首都大学東京 物理 光物性研究室

櫻井 啓介 大阪大学 蛋白質研究所

丹羽 秀治 東京大学 工学部 応用化学科

蓼沼 樹 群馬大学 大学院 工学研究科 電気電子専攻

田中 慧 群馬大学 大学院 工学研究科

高畑小百合 兵庫県立大学

吉田 力矢 岡山大学 自然科学研究科 数理物理学

石渡 良二 日本大学 大学院 理工学研究科 物理学専攻

渡辺 新治 広島大学 理学部 化学科 集積化学研究グループ

田中 真文 神戸大学 発達科学部 中川研究室

田原 和彦 理化学研究所 兵庫県立大学

半田宗一郎 大阪大学 大学院 工学研究科 精密科学・応用物理学専攻

鈴木 干城 北海道大学大学院理学院

木村 隆志 大阪大学

酒巻 真粧子 千葉大学

鈴木 宏輔 群馬大学大学院

松村 和史 立命館大学 理工学研究科 物理科学

牧村 慎一 立命館大学 理工

以上52名

#### 《賛助会員入会》

ラドデバイス㈱ (2口)

㈱ジェイテック (1口)

以上2社3口

#### 《賛助会員口数変更》

㈱富士通研究所 (2口から1口に変更)

以上1社1口

#### 《退会会員》

正会員24名, 学生会員5名, 賛助会員1社

#### 《会員数》

会員 1340名 (内学生 240名) 賛助会員 50社 (54口)

## 一口メモ

### 蠟梅

ロウバイ科の3m程度の落葉低木で、17世紀頃に中国から渡来した。葉は卵形で両面ともざらざらしている。開花時期は12月中旬で葉に先立って香りのある花を開きだし、早春まで咲き続ける。花卉の外側では黄色、内側では暗紫色で、蠟細工のような梅に似た花であり、卵形の果実を結ぶ。

私の生活は恒例により、元旦には上州路を走る全国実業団駅伝、2日と3日には東京箱根間往復大学駅伝のテレビ観戦から始まりました。箱根駅伝では駒澤大学が予想通りに総合優勝し、早稲田大学が2位、中央学院大学が3位、関東学連選抜が4位と続きました。しかし、有力校の順天堂大学、東海大学、大東文化大学が相次いで途中棄権したのにはびっくりしました。大学の期待を背負った選手はプレッシャーに負けたのかもしれませんが、これからの長い人生ではこの悔しさをバネにがんばってほしいと思います。4日には88歳の母が一人で生活している赤城山南麓の実家に出かけ、しばらく話をしてきました。多少、風邪気味でしたが、気丈夫で安心しました。

(No. 79, K. Ohshima)



## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2008年 3/5-7	The 1st J-PARC International Symposium International Symposium on Pulsed Neutron and Muon Sciences (IPS08)	茨城県市町村会館	J-PARC センター E-mail: IPS08@ml.j-parc.jp	20・6
3/20-29	スプリング・サイエンスキャンプ2008	大学, 公的研究機関, 民間企業 (20会場)	独立行政法人 科学技術振興機構 TEL : 03-3212-2454	21・1
3/26	第2回講習会「X線反射率による薄膜・多層膜の解析」	御物質・材料研究機構 千現地区	(社)応用物理学会 埋もれた界面のX線 ・中性子解析グループ E-mail: sakurai@yuhgiri.nims.go.jp	21・1
8/23-31	第21回国際結晶学連合会議 (IUCr2008)	大阪国際会議場	国際結晶学連合, 日本結晶学会, 日本 学術会議 E-mail: iucr2008@congre.co.jp	21・1
9/8-12	第14回プラズマ理工学国際会議 (ICPP2008)	福岡国際会議場	プラズマ・核融合学会, 自然科学機構 核融合科学研究所, 九州大学 E-mail: icpp2008@triam.kyushu-u.ac.jp	20・6
10/28-31	第4回真空・表面科学アジア・オーストラ リア会議 第49回真空に関する連合講演会 (併催)	くにびきメッセ	日本真空協会 E-mail: yoshio.saito@kek.jp	20・6

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

### ■スプリング・サイエンスキャンプ2008

先進的な研究施設や実験装置等を有する日本各地の大学・公的研究機関・民間企業 (20会場) が春休みに高校生等を受け入れ、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、社会基盤、製造技術、(宇宙・海洋等の) フロンティア、農学、地球科学等の分野において、第一線で活躍する研究者・技術者等から直接講義や実習指導が受けられる科学技術体験合宿プログラム。募集要項はWEBサイトから入手可能。

主 催：独立行政法人 科学技術振興機構

開催日：2008年3月20日～2008年3月29日の春休み期間中の2泊3日

参加費：無料 (自宅から会場までの往復交通費は参加者負担)

応募締め切り：2月13日(水) <必着>

サイエンスキャンプ事務局：財団法人 日本科学技術振興財団

問合せ：TEL：03-3212-2454 FAX：03-3212-0014

WEB サイト：http://spp.jst.go.jp

### ■第2回講習会「X線反射率による薄膜・多層膜の解析」

X線反射率法は、薄膜・多層膜の深さ方向の内部構造、具体的には、各層の膜厚、密度、各界面のラフネス等を非破壊で分析できる技術です。本講習会では、X線反射率法の経験豊富な専門家を講師に迎え、基礎から丁寧に講義を行うとともに、シミュレーションやデータ解析の実習を少人数のグループ (A. 経験者コース, B. 解析体験コース, C. 初學者コース) に分けて、きめ細かく行ないます。休憩時間には「X線反射率相談デスク」を設け、日頃の疑問に思っていること、質問したくてもなかなかできなかったことに、5～6名の専門家がお答えします。

主 催：(社)応用物理学会 埋もれた界面のX線・中性子解析グループ

(http://www.nims.go.jp/xray/ref/)

協 賛：日本放射光学会, 他

日 時：2008年3月26日(水)

会 場：御物質・材料研究機構千現地区

〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1

(http://www.nims.go.jp/)

教 材：

「X線反射率入門」(188ページ)を参考書として配布するほか、講義に完全対応したレジュメを用意いたします。

参加費：16,000円（テキスト「X線反射率法入門」を既にお持ちの方12,000円）

定員：40名（定員になり次第、締め切ります）

申込先：

氏名（ふりがな）、所属、住所、TEL、FAX、e-mail、実習についてご希望のコース（特にない場合も、ご相談の上、最適のコースを決めさせていただきます）をご連絡下さい。折り返し受付の連絡と請求書の郵送をいたしますので、入金をお願いします。入金完了をもって、参加申込み完了となります。領収書は講習会当日に手渡しになります。

なお、いったん申し込まれた後、キャンセルされる場合は、いかなる理由であっても返金には応じかねますので、あらかじめご了承ください。

問合せ先：

〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1

物質・材料研究機構 桜井健次

(TEL 029-859-2821, FAX 029-859-2801,

sakurai@yuhgiri.nims.go.jp)

その他：

カリキュラムの詳細、実習コースの詳細などは、下記 URL をご覧戴くか直接お問合せ下さい。

<http://www.nims.go.jp/xray/ref/TutorialXRR2008March.htm>

## ■第21回国際結晶学連合会議（IUCr2008）

本会議は3年に1度開催されており、日本での開催は36年ぶり2回目となります。本会議の対象分野は、結晶学、鉱物学、物理学、化学、地質学、無機材料科学、有機材料科学、生命科学、薬学など多分野にまたがります。また、方法論、装置開発などから応用まで、結晶に関わるあらゆる領域をカバーしております。会議では、ノーベル賞受賞者講演を含め30演題を越す基調講演、98テーマにおよぶマイクロシンポジウムが開催されます。最新の詳細情報はホームページをご覧ください。

主催：国際結晶学連合、日本結晶学会、日本学会会議

協賛：日本放射光学会、他

日時：2008年8月23日（土）～31日（土）

場所：大阪国際会議場

（〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51）

参加費：

2008年5月15日まで：一般55,000円、学生25,000円、それ以降：一般65,000円、学生30,000円

参加登録：

ホームページ (<http://www.iucr2008.jp>) にて2008年1月15日より

講演申込締切：2008年3月31日

連絡先：

IUCr2008事務局、株式会社コングレ内

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-6-13 コングレビル

TEL 06-6229-2555, E-mail [iucr2008@congre.co.jp](mailto:iucr2008@congre.co.jp)

### ● 会誌オンライン利用方法の変更に関するご案内 ●

編集委員長 櫻井吉晴

渉外幹事 繁政英治

日本放射光学会のホームページの一部更新に伴い、オンライン会誌へのアクセス方法が次の通り変更になりましたのでお知らせします。

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックして頂き、会員専用ページにアクセスして頂くことになります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr211

Password : ri2Une5g

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら、繁政 ([sigemasa@ims.ac.jp](mailto:sigemasa@ims.ac.jp)) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、櫻井 ([sakurai@spring8.or.jp](mailto:sakurai@spring8.or.jp)) までお願いします。